

京機会ニュース

No.40 令和元年(2019年)号



京機会(京都大学機械系同窓会)

事務局:〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟b棟4階(b4S13)

TEL&FAX:075-383-3713 URL:http://www.keikikai.jp/

E-mail: jimukyoku@keikikai.jp



2019年春(3月)の風景 (学生と先輩との交流会・2018年度 学位授与式)

	目	次	
会長挨拶	2	東北の会からのお知らせとご報告	16
京機会総会開催のご案内	3	正しいことを言っているのにわかってもらえない	
京機会総会のご報告	4-5	(界面自由エネルギーと躁状態のお話)	16-17
京機会役員等	6	学生と先輩との交流会にかかるお知らせ	18
平成30年度決算/予算	7	学生会SMILEからのお知らせとご報告	18
会費納入のお願い	7	学生会員への京機会活動	19
関西支部総会・新年会のお知らせ (支部だより)	8	2018年度 学位授与式の風景	19
関西支部からのお知らせとご報告	9-10	KARTからのお知らせとご報告	20
関東支部からのお知らせとご報告	11	RoboCup 世界大会レスキュー実機リーグ優勝	20
中部支部からのお知らせとご報告	12-13	教員の異動	21
中国四国支部からのお知らせとご報告	14	(会員のページ)	
九州支部からのお知らせとご報告	15	学年・研究室同窓会のご報告	21-24

2020年度京機会総会は、2019年11月2日(土)に、
京都大学吉田キャンパス物理系校舎ならびに京都大学百周年記念館にて開催いたします。

会長挨拶

2018年11月10日開催の2019年度京機会総会にて会長を拝命して、早や1年足らずが経過しました。

その間、様々な行事・活動に触れることができ、今さらながら京機会組織を誇らしく思っています。各地域において、シニア層から学生までの幅広い世代を対象とした多種多様な取り組みが積極的に推進されており、学科の同窓会としてまさに日本一ともいえる活動が展開されているのを実感しています。

なかでも各支部の特徴ある行事に参加し、毎回、有益かつ楽しい経験をさせていただいています。関東支部行事には、主に首都圏に本社・工場・研究所を置く多くの企業や官公庁に勤務されている方々が集われます。1月の新年会では、和気あいあいとした中で第二世紀事業リカレント講演会、支部総会、特別講演が行われ、今後の科学技術と社会の発展に想いを馳せることができました。関西支部の総会には参加できず失礼しましたが、4月の産業歴史探訪では福田金属箔粉工業(株)において金属粉・金属箔の製造過程をつぶさに見学し、粉末冶金材料・導電材料・顔料・配線基板・包装材料等を始めとする様々な応用に気持ちが掻き立てられました。同じく4月に開催された中部支部の総会では、私の専門に近いエアモビリティに関する2件の講演を興味深く拝聴しました。中部支部は若手主導の企画に特徴があり、総会の場でも若手を盛り立てる意図が感じられました。また、中国四国支部の6月の総会では、工場見学・鞆の浦観光・異業種交流会がセットで開催され、地域性を活かした盛り沢山な内容で、充実した



1日となりました。とくにJFEスチール(株)西日本製鉄所での真っ赤に溶けた巨大な鉄塊が高速で送られ、薄板ロールに加工される様は壮観でした。来たる11月に企画されている九州支部の秋のイベントも楽しみにしています。

以上の内容は、本紙の支部だよりで紹介されますが、行事に参加することの意義や楽しさを共感いただきたく、挨拶の紙面をお借りして個人的感想を述べさせていただきました。さらに、これらの支部行事後に行なわれる懇親会においては、同窓の懐かしさに心が洗われます。同期の友人や先輩・後輩との旧交を温め、その後のお互いの状況を知ることで、来し方を振り返り、行く末に想いを馳せる貴重なひとときとなります。初めてのの方との会話でも思わぬ繋がりや新たな発見があつて、予期せぬ関係に発展することも多くあります。これら京機会諸活動の企画・運営においては、何れも参加者の立場から行き届いた心尽くしの対応をいただき、関係する皆様に、ここに改めて謝意を表します。

さて、今後も京機会が同窓会としてサステナブルに発展していくために、今、何をすべきかを検討することも大切です。とくに、若い人にメリットを感じてもらい、活躍の場を提供することが次世代に繋がることは言うまでもありません。新しく入会される教員も多くおられ、それらの方々にも京機会の良さを理解いただき、諸活動に積極的に参画いただくことも必要です。私も会長としての務めを精一杯努めさせていただく所存です。

今後とも、皆様方のお知恵とご支援・ご協力をお願い致します。

京機会会長 塩路 昌宏 (S50)

京機会 Facebook

京機会 facebook ページを開設しました。
是非ご利用下さい



同窓会開催のお手伝いをします！



京機会の目的は会員の親睦と発展であり、その原点は各卒業年度同窓会活動にあります。学年同窓会や研究室同窓会開催に際し、京機会事務局は、皆様の運営にご協力いたします。

現在、事務局では、ご希望に応じて、受付WEBシステムや案内配信、宛名ラベル出力などのサービスをご提供しています。具体的な手続きは、事務局にご連絡ください。

なお、個人情報保護の関係で、関連データ提供に関しては、簡単な規則を設けて運用しています。



受付システム画面

是非、各種同窓会をご計画下さい。

2020年度 京機会総会開催のご案内

本大会を下記により開催いたします。出席下さいますようご案内申し上げます。
本年度は京大ホームカミングデーと同日開催です。ご家族の参加も歓迎いたします。

日時:令和元年11月2日(土) 14:10~19:30

会場: <総会・講演会>

京都大学吉田キャンパス物理系校舎 3F 313室

<懇親会> 百周年時計台記念館 2F「国際交流ホールⅢ」

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 電話:075-753-2285

行事: <大会受付> 13:30~ 物理系校舎 3F 313室 前

1. 京機会総会 14:10~15:45
2. 記念写真撮影 15:55~16:00
3. 特別講演会 16:00~17:10

『不便だからこそその益があるシステムの設計』

川上 浩司 氏 <S62、京都大学 情報学研究科 情報学ビジネス実践講座 特定教授 >



不便であることの効用を「不便益」と名付け、不便益のあるシステムのデザインを研究テーマにしています。高度成長期に幼少期を過ごし、大学では工学部機械系で学んだ者として、「便利で豊かな社会」という言葉を素直に受け入れ、「工学は便利な物を作って社会を豊かにする学問」だと思っていました。不便な方が良いことがたまにはあっても、それは例外的なことだと思っていました。ところがいざ、不便だからこそ良いモノゴトを収集すると、予期せぬほどたくさんあって、看過できません。それどころか、不便益のあるシステムを新たに生み出してみようと思ひ至りました。



4. 懇親会 17:30~19:30

令和最初の京機会総会懇親会は、京都を代表する老舗ホテル「リーガロイヤルホテル京都」に料理提供をお願いしています。皆さま、どうぞお楽しみに！



会費(懇親会費): 一般会員 6,000円 学生会員 2,000円

同伴者(高校生以上) 2,000円 (中学生以下) 無料

- **ご家族の参加も歓迎いたします。**ご家族参加の場合は、大会参加申込時にその旨ご回答下さい。
- 自由な服装でお越しください。
- **10月18日(金)までに**、同封のハガキもしくは、京機会HP(<http://www.keikikai.jp/>)からの参加申込をお願いします。(但し、二重受付登録防止のため出欠回答はどちらか一方をお願いします。)



● 第14回 京都大学ホームカミングデー

京機会総会当日は、京都大学ホームカミングデーも開催されます。本年度は「挑(いどむ)」がテーマです。建築家 安藤忠雄氏の講演会や昼食懇親会、見学会等と併せてお楽しみ下さい。詳細は、同封のチラシにてご確認下さい。

平成31年度 京機会總會のご報告

日 時:平成30年11月10日(土)
会 場:京都大学吉田キャンパス
幹事会:物理系校舎(出席者41名)
総 会・講演会:物理系校舎313室
懇親会:国際交流ホールⅡⅢ



今回も、吉田キャンパスで開催いたしました。参加者は、ご家族も含め、総勢152名でした。

平成31年度京機会總會は、11月10日(土)に京都大学の吉田キャンパスにある、物理系校舎及び百周年記念館国際交流ホールにて行われました。また、今回は登録不要の形で技術講演会には、多数の学生会員が参加しました。

－ 全体幹事会 －

幹事会では、会計の報告と新役員候補の紹介がなされ、總會への提出が承認されました。

また、京機会活動に関する意見が紹介され、活発な意見交換が行われました。



－ 總會 －

平成31年度總會は、蓮尾昌裕代表幹事(S60)の司会によって行われました。

中村吉伸会長(S48)の挨拶で始まり、続いて、榎木哲夫工学研究科副研究科長(S56)より教室の現状報告がなされました。

その後、新任教員、昇任教員4名の紹介が行われました。



平成30年度の活動報告では、各支部の協力による工場見学の実施、脇坂資金による学生の留学補助、学生と先輩の交流会、学生フォーミュラー活動、社会貢献の取り組み(小学校への出張講義)、ニュースレターなどが紹介されました。続いて、平成30年度決算報告があり、小谷重遠氏(S44)による監査報告がおこなわれ、承認されました。

次に、役員改選の結果が報告され(詳細はP.6)、新会長となる塩路昌宏氏(S50)の挨拶が行われました。その後、平成31年度の活動予定および予算が紹介され、予算が承認されました。



支部報告では、関西、関東、中部、中国四国、九州から、それぞれの特色を生かした活動の報告が行われました。関西支部からは、産学懇話会、異業種交流会、京機カフェなどの取り組み、および会費徴収率改善の試みなどが紹介されました。関東支部からは、異業種交流会、工場見学会、ゴルフ同好会、若手幹事会の活動などが紹介されました。中部支部からは、「モノづくり。MADE iN 中部」、「中部発匠の技術」などが紹介されました。中国四国支部からは、役員連絡会・会員交流会、異業種交流会の活動などが報告されました。九州支部からは、小学校や高校への出張講義や、工場見学会の活動などが紹介されました。

最後に、東北の会の活動概要が簡単に報告されました。(各支部の活動詳細はP.9～P.16に記載)



－ 特別講演会 －

特別講演会では、「ロボティクスの可能性と限界」と題して、浅田春比古氏((S48)マサチューセッツ工科大学 教授)より講演がありました。



－ 特別講演会 －

講演では、ロボティクスの研究分野が発展し、暮しや将来の社会の在り方まで影響を及ぼすようになった現状や、今後の飛躍・進展の可能性、課題、限界について、MITで開発されたユニークなロボットを紹介しつつ、お話されました。



講演は在学生の参加も多く、「ロボットだけでなく人も学習することが重要という考えに至ったのはどうしてか?」、「独創的なアイデアを出すうえで大事なことは何か?」等の質問も出て、大変盛況でした。

－ 懇親会 －

会場を国際交流ホールに移して、西脇眞二代表副幹事(S61)の司会で懇親会を開催しました。

最初に京機会の平成30年度の年間活動において顕著なご尽力をいただいた並木宏徳氏(S44)ならびに支部推薦の4名、1組への表彰が行われました。ご欠席の受賞者については、各支部からの代理の方に賞状を受領いただきました。



塩路昌宏新会長(S50)にご挨拶いただいた後、下間頼一氏(S25)の乾杯のご発声により、会が始まりました。しばしの歓談の後、KARTからの本年度活動報告があり、その後、「琵琶湖周航の歌」を参加者全員で合唱しました。最後に、杉江俊治氏(S51)よりご挨拶をいただき、懇親会が終了しました。



平成30年度 京機会年間活動優秀賞

受賞者は下記のとおりです。

■ 並木 宏徳 氏(S44)

関西支部京機カフェの創設をはじめとする京機会事業全般を長年牽引いただき活性化に大きく貢献いただきました。(会長推薦)

■ 坂口 保彦 氏(S54)

京機カフェ「大阪あそ歩・京都あそ歩会」の活動立ち上げと継続(大阪8回、京都3回)にて支部の活性化に大きく貢献いただいています。(関西支部推薦)

■ 小森 正輝 氏(H20)

若手会代表幹事としてMOTセミナーや新人歓迎会等若手向け活動を牽引いただき支部の活性化に貢献いただきました。(関東支部推薦)

■ 中部支部 若手の会

ご家族向け企画や若手を中心とした活動の企画・運営に大いに活躍いただいています。(中部支部推薦)

■ 黒岩 一郎 氏(S55)

関東支部所属のまま異動先の中国四国支部に協力して春季行事の現地手配や運営に尽力され盛会に導いていただきました。(中国四国支部推薦)

■ 中村 久志 氏(S56)

長年に亘る支部行事への積極的な参加と出前講義運営に多大なるご尽力により京機会の活性化に大きく貢献いただきました。(九州支部推薦)



平成31年度 京機会役員 (敬称略)

*は新任、正:は正幹事、副:は副幹事の略

【会長】 塩路 昌宏*(S50)

【副会長】

北村 隆行*(S52)
野村 剛*(S51、関西支部)
山本 謙(S50、関東支部)
三輪 邦彦(S53、中部支部)
古屋 博章*(S57、中国四国支部)
千々木 亨(S54、九州支部)
土居 佑輔*(H31、学生会)

【監事】 小谷 重遠(S44)、鴻野雄一郎(S44)
森 雅彦(S60)

【代表幹事】 正:蓮尾 昌裕(S61)、副:西脇 眞二(S61)

【会計幹事】 正:鈴木 基史(S61)、副:平方 寛之*(H9)

【常任幹事】

大学側幹事:

(関西) 正:平方 寛之(H9)、副:松原 厚(S60)
(関東) 正:吉田 英生(S53)、副:小森 雅晴(H7)
(中部) 正:西脇 眞二*(S61)、副:井上 康博*(H10)
(中国四国)正:琵琶 志朗(H2)、副:花崎 秀史(S59)
(九州) 正:黒瀬 良一(H5)、副:河野 大輔(H17)

大学側幹事:

(名簿担当) 四竈 泰一(H14)
(広報:ニュース)正:富田 直秀(S54)、副:黒瀬 良一(H5)
(通信・情報・セキュリティ担当)正:野中 鉄也(S55)
(通信・情報・セキュリティ担当)副:巽 和也*(H9)
(学生会) 岩井 裕(H5)、松田 直樹(H22)
名村 今日子(H22)
(教室代表:機械系) 北條 正樹*(S54)
(教室代表:エネルギー) 星出 敏彦(S52)
(教室代表:情報) 大塚 敏之*(H2)
学生会: 古田 康晃*(H31)

地区代表幹事:

(関西)佐藤 智典*(H2)、(関東)今井 信二*(S62)
(中部)今村 隆昭(S62)、(中国四国)後藤 宏*(S63)
(九州)泉屋 亨*(H5)

【顧問】 久保 愛三(S41)、藤川 卓爾(S42)
中村 吉伸*(S48)、松久 寛(S45)

【運営委員会】 運営委員長:北條 正樹*

久保 愛三、熊澤 正博(S43)、野村 剛*
松久 寛、三輪 邦彦*、千々木 亨、古屋 博章*
榎木 哲夫(S56)、松原 厚、鈴木 基史、蓮尾 昌裕
西脇 眞二

<本部役員改選のお知らせ>

本部役員改選は、11月2日の京機会総会で行います。上記役員任期は2019年11月1日までです。

2020年度 京機会学年幹事 (敬称略)

2020年度学年幹事は下記の通りです。本年度もご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

京機会総会当日、全体幹事会を、物理系校舎3階312室にて、13:10~14:00に開催いたします。

幹事各位には万障お繰り合わせの上、ご出席の程よろしくお願ひいたします。幹事会の詳細案内は、別途お送りします。

卒業学年	氏名	E-mail	卒業学年	氏名	E-mail	卒業学年	氏名	E-mail	卒業学年	氏名	E-mail
1947			1964	村田 哲也	1964hyogiin	1982	矢辺 保行	1982hyogiin	2000	小田 豊	2000hyogiin
1948			1965	池内 健	1965hyogiin	1983	永瀬 豊	1983hyogiin	2001	土井謙太郎	2001hyogiin
1949			1966	中嶋 邦彦	1966hyogiin	1984	横小路泰義	1984hyogiin	2002	金田 靖弘	2002hyogiin
1950			1967	藤川 卓爾	1967hyogiin	1985	洲崎 章弘	1985hyogiin	2003	吉富 聡	2003hyogiin
1951	大塚 義和	1951hyogiin	1968	来田 浩毅	1968hyogiin	1986	蓮尾 昌裕	1986hyogiin	2004	安富 亮太	2004hyogiin
1952	山本 巖	1952hyogiin	1969	鴻野雄一郎	1969hyogiin	1987	川上 浩司	1987hyogiin	2005	向 朋作朗	2005hyogiin
1953旧			1970	各務 嘉郎	1970hyogiin	1988	玉川 雅章	1988hyogiin	2006	嶋本 淳	2006hyogiin
1953			1971	高橋 秀公	1971hyogiin	1989	石谷 善博	1989hyogiin	2007	藤井 恵介	2007hyogiin
1954			1972	秋山 雅義	1972hyogiin	1990	畑 善裕	1990hyogiin	2008	所 哲哉	2008hyogiin
1955	田中 道七	1955hyogiin	1973	増本 雄治	1973hyogiin	1991	高橋 俊雄	1991hyogiin	2009	松本 洋平	2009hyogiin
1956	赤松 映明	1956hyogiin	1974	田上 眞	1974hyogiin	1992	須山 徹	1992hyogiin	2010	工藤 朋也	2010hyogiin
1957	田中 秀樹	1957hyogiin	1975	塩路 昌宏	1975hyogiin	1993	岩井 裕	1993hyogiin	2011	荒井 未来	2011hyogiin
1958	野田 忠吉	1958hyogiin	1976	杉江 俊治	1976hyogiin	1994	茨木 創一	1994hyogiin	2012		
1959	柴田 俊忍		1977	星出 敏彦	1977hyogiin	1995	小森 雅晴	1995hyogiin	2013	姫野 哲全	2013hyogiin
1960	矢部 寛	1960hyogiin	1978	上原 一浩	1978hyogiin	1996	泉井 一浩	1996hyogiin	2014	後藤 崇	2014hyogiin
1961	井上 恵太	1961hyogiin	1979	坂口 保彦	1979hyogiin	1997	佐野 智一	1997hyogiin	2015	児嶋 佑典	2015hyogiin
1962	吉岡 肇	1962hyogiin	1980	奥田 寛	1980hyogiin	1998	浦木 亨弘	1998hyogiin	2016	三上 慎司	2016hyogiin
1963	中川 哲	1963hyogiin	1981	榎木 哲夫	1981hyogiin	1999	藤本 亮	1999hyogiin	2017	長井 大顕	2017hyogiin

(注1)該当アドレスへ送信すると、学年評幹事の登録メールアドレスに自動転送されます。本内容は個人情報です。

各位にはお取り扱いには十分にご留意下さい。

(注2)アドレスの後ろは、@keikikai.jp をつけてください。

(注3)上記一覧の「E-mail」項目が空白の場合、現時点では、本連絡システムはご利用いただけません。

(注4)本連絡システムに対するご質問・ご意見等のご連絡は、京機会事務局 (TEL:075-383-3713 E-Mail: jimukyoku@keikikai.jp) まで。

<学年幹事決定のご報告> 2019年7月に2020年度学年幹事の継続就任をお願いし、上記幹事各位にご快諾いただきました。2020年度の任期は2019年11月2日~2020年11月吉日(総会の前日)までです。

京機会平成30年度(2017.10.1~2018.9.30)決算 / 平成31年度(2018.10.1~2019.9.30)予算

	本部	経費	交流会	ニュース	名簿	支部	SMILE	機械系教育補助	定域・社会貢献	計	備考	H31 予算
<収入>												0
会費収入	6,663,650									6,663,650		6,742,000
年会費	5,495,000									5,495,000		5,500,000
半年会費	492,000									492,000		540,000
学生会費	728,650									728,650		702,000
寄付収入	143,000									143,000		50,000
参加費収入		400,000	5,868,000							6,268,000		6,660,000
政治学研究会		400,000								400,000		600,000
文芸会			5,868,000							5,868,000		5,960,000
文芸会研究会			724,000							724,000		700,000
名簿販売収入					0					0		40,000
名簿広告収入					0					0		1,000,000
受取利息	125									125		150
その他	3,000									3,000		0
名簿引当金繰入					0					0		600,000
収入計	6,829,783	400,000	5,868,000	0	0	0	0	0	0	13,217,783		15,140,150
<支出>												0
給与手当	4,512,250									4,512,250		4,650,000
経費分	4,102,600									4,102,600		4,200,000
退職金繰入	300,000									300,000		450,000
経費分	129,650									129,650		700,000
法定福利費	837,898									837,898		870,000
会議費	102,432	489,891	1,458,571							2,050,894		2,320,000
依費交通費	99,500	108,498								207,998		650,000
印刷費	0	448,584		701,978	0					1,148,562		2,570,000
通信費	9,089	36,103	18,732	215,767	4,082					283,843		470,000
消耗品費	88,801									88,801		200,000
WEB等管理費	64,159		86,400							150,559		170,000
減価償却費	90,589		142,560				3,699			226,848		192,000
雑費	167,382									167,382		190,000
支部交付金						1,479,093				1,479,093		1,550,000
原簿						493,607				493,607		600,000
原簿						347,340				347,340		380,000
原簿						288,046				288,046		280,000
原簿						280,078				280,078		270,000
その他						774,433				774,433		180,000
その他						0				0		0
スマイル活動費							114,120			114,120		200,000
機械系教育補助費								603,840		603,840		700,000
工簿原簿								728,600		728,600		780,000
原簿								498,600		498,600		580,000
その他								0		0		0
他社・社会貢献事業等補助費								52,025		52,025		100,000
名簿引当金繰入				200,000						200,000		200,000
予備費					0					0		108,150
特別損失	0									0		0
支出計	5,862,162	1,159,224	1,706,263	917,745	204,082	1,479,093	117,819	603,840	52,025	12,202,263		15,140,150
差引増減	867,621	△ 759,224	4,281,737	△ 917,745	△ 204,082	△ 1,479,093	△ 117,819	△ 603,840	△ 52,025	1,015,520		0

<会計決算年度変更のお知らせ>

平成27年度から、会計年度は9月決算となりました。2019年度決算(2018年10月1日~2019年9月30日)は、11月2日の京機会総会に於いて報告・承認の上、次号の京機会ニュース(No.41)にて報告いたします。

会費納入のお願い

2019年度・2020年度の会費の納入をお願いします。

年会費は、従来どおり3,000円です。

2019年度<2019.4.1~2020.3.31>、2020年度<2020.4.1~2021.3.31>をそれぞれ1年分と考えてご納付下さい。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本のものづくりを支える本会の活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤にしております。是非、会費納入にご協力下さい。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用下さい。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。

会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

●永年会員登録のお勧め

1982年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費納入の必要はなく、生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金はいたしません。)

●インターネットバンキングもご利用できます。

右記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込下さい。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担といたします。(海外送金は除く。))

口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

せりきゆうきゆう

ゆうちょ銀行 ○九九店(099) 当座預金 0116821

みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630

郵便振替口座 00990-8-116821

●京機会年会費自動引落のお勧め

各位の振込の手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機会年会費を自動引落にさせていただくことを、是非お願い申し上げます。

申請の際は、同封の用紙をご使用下さい。振込手数料は京機会負担ですので、是非ご利用下さい。

申請依頼書は6月末迄に京機会事務局にご郵送下さい。

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 4階 b4S13
京都大学工学研究科 機械系教室内 京機会事務局

■年会費自動引落日は8月1日に変更となりました。

寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。

引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2018・2019年度寄付者(2018.9.1~2019.8.20)

吉村 秀夫 様(1939) 岩井 文彦 様(1946)

岩崎 恵二 様(1952) 仁科 稜三 様(1958)

中川 哲 様(1963) 本橋 宏 様(1964)

藤原 健嗣 様(1969) 田中 康彦 様(1976)

大森 俊博 様(2004)

令和2(2020)年度 関西支部総会・新年会開催のご案内

京機会関西支部では恒例の新年会を下記のとおり開催いたします。会員ご本人のみならず、会員ご家族様にも参加しやすい会としたいと考えておりますので、奮ってご参加いただきます様、お願いいたします。なお、京機会ホームページやE-Mailでも別途ご案内させていただきます。

- 日 時：令和2年1月18日（土）
- 会 場：ガーデンシティクラブ大阪
〒530-000 大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA 6F TEL:06-6343-7770
- 行 事

講演会 15:00 ~ 16:45 (オリオン)

「形態形成の多細胞力学シミュレーション」

講 師：井上 康博 教授（京都大学 マイクロエンジニアリング専攻）

多細胞生物の器官の形は、その機能発現と深く関わっており、その形の成り立ち(形態形成)には、個々の細胞が生み出す力が重要な働きをしています。近年、形態形成を多細胞の力学をもとに、計算機を用いたシミュレーションで予測できるようになってきました。多細胞力学シミュレーションの概要、現状や課題について紹介します。



総 会 16:55 ~ 17:20 (オリオン)
 学生フォーミュラ報告会 17:20 ~ 17:30 (オリオン)
 新年会 17:45 ~ 19:45 (クラブラウンジ)

- 参加費用：平成20年以前学部卒業の会員 10,000円
 平成21年以降学部卒業の会員 7,000円
 学生・大学院生 3,000円
 会員ご家族、平成31年4月新入社員の会員 無 料
- 申し込み：京機会ホームページもしくは、関西支部事務局までご連絡ください。
- 申込締切：令和2年1月4日(金)
- お問い合わせ：事務局 ㈱大阪ガス 岡下 裕樹 kansaisokai2020@keikikai.jp

京機会データ登録にご協力ください。

会員各位にスムーズにご連絡がとれますよう、また提供サービスを確実にご利用いただけますよう、データ登録のご協力をお願い申し上げます。なお、京機会ニュース同封の「返信ハガキ」も引き続きご利用いただけます。

京機会ホームページに「住所変更受付ページ」がございます。
 データ変更はこちらよりご連絡下さい。

<https://keikikai.securesite.jp/>



QRコード

住所変更受付ページは、ご登録後、データが事務局にメールにて連絡されるシステムです。サーバー上での管理ではありませんので、セキュリティ面では万全です。ご安心してお使いいただけます。



■ 平成31年度支部総会

日時:平成31年1月19日(土)

場所:ガーデンシティクラブ大阪 参加者:80名

支部総会を実施し以下項目を報告し議決されました。

平成30年度・活動報告・会計報告

平成31年度・役員改選・活動報告案・予算案

平成30年度会計報告

Table with financial data for H30, including income and expenditure sections.

平成31年度予算案

Table with budget estimates for H31, including income and expenditure sections.

平成31年度関西支部役員

- List of officers: 支部長:野村 剛(1976年), 副支部長:岩崎 隆至(1981年), 吉田 乙雄(1990年), etc.

■ 平成31年度新年会

日時:平成31年1月19日(土) 17:45~

場所:ガーデンシティクラブ大阪 参加人数:92名

関西支部総会に引き続き、恒例の関西支部新年会を開催し92名の方に参加いただきました。

当番会社(三菱電機(株))代表の開会挨拶に続き、野村剛支部長(1976年)挨拶、更に大学代表として榎木哲夫先生(1981年)に大学の近況の御報告をいただきました。そして当日ご参加頂いた年長の大槻幸雄様(1954年)に乾杯の御発声をいただき開会いたしました。

恒例の「琵琶湖周航の歌」の大合唱の後、活気に満ちた新年会を盛会裡に閉会致しました。

また新年会開始前に記念撮影をし、お帰りの際皆様に全体写真をお渡ししました。



● 令和2年度支部総会・新年会は、P.8を参照下さい。

■ 若手会

若手の交流や京機会活動活性化を目的として今年度より活動を開始しました。

○新人歓迎会:令和元年4月20日(日)

場所:ガーデンシティクラブ大阪

今回初めての企画となった新人歓迎会が開催されました。今回の新人歓迎会は、関西支部の会社に就職した新人を歓迎すべく、「新入社会人の皆様へ:若手の先輩の経験談を聞く」と題して、京機会関西支部の先輩社会人が経験談を語り、新人の皆様が今後仕事をしていく上で参考にしていただければとの思いから開催しました。また、本会では、京機会関西支部の活動を知っていただき、同じ大学・学部出身の他の会社の人達との繋がりの場として関西支部を今後の仕事の上でも有効に活用していただければとの思いもあり開催となりました。

本会は、新人の方々が7名参加され、また先輩も含め合計21名の参加となりました。最初の1時間で、京機会の説明、先輩の方々の経験談、質問と進み、その後1時間で食事しながら歓談をし、最後に全体で写真を撮り、終始、和やかな会となりました。新人の方々からは京機会の活動に触れることができ、またこの会で先輩の経験が聞けて、社会人としてもいろいろと参考になったとの意見がいただけました。



○ヨガ教室:令和元年5月19日(日) 参加者:5名

場所:京都御苑 出水の小川



■ 異業種交流会

第45回 異業種交流会 ご案内

日時:令和元年10月8日(火)
場所:新明和工業(株) 甲南工場 (神戸市東灘区)
定員:25名
詳細は、京機会HPならびにメール案内をご覧ください。

■ 産学懇話会

○第49回:令和元年5月25日(土)
場所:京都大学 桂キャンパス 参加者:32名
講演:テーマ:「バイオメディカル」
講演:・「自動細胞培養装置の事業と開発について」
パナソニック(株) 戸島 亮氏
・「マイクロ・ナノ加工技術が可能にする
生体分子・細胞・組織の再構築」
京都大学マイクロエンジニアリング専攻
横川 隆司先生(2000年)
・「手術ロボットの実際
～安易に手を出していけない「医療機器開発」～」
(株)メディカロイド 北野 幸彦 氏(1981年)
バイオメディカルに関する最新の技術動向に関しての
非常に興味深いもので盛況な産学懇話会となりました。

■ 京機カフェ

詳細、申し込みは関西支部ホームページを参照下さい。

● ミュージックカフェ

○第15回:令和元年5月12日(日) 参加者:31名
「宝塚歌劇観劇プレミアム特別企画」
第一部 元タカラジェンヌ 清まさみさんトーク交流会
(於:西宮北口イタリアンレストラン BAR Salu)
第二部 宝塚歌劇「オーシャンズ11」観劇
(於:宝塚大劇場)
歌劇観劇本番の前に、元タカラジェンヌ清まさみさん
をお招きして、歌劇団の裏話や、これから向かう宝塚大
歌劇場の仕組みと周辺の関連施設、そしてオーシャンズ
11の予備知識までお話いただきました。舞台裏話
をお聞きして、これからの歌劇本番を見る目が変わりま
した。歌劇本番では、まず宙組新人さんたちによる
「口上」です。はかま姿の凛々しい口上に感動しました。
さて、オーシャンズ11が始まり、映画でも人気のアク
ションストーリーをミュージカル風にあくまで美しく楽し
く。そして真骨頂はロングフィナーレ。参加者さんたちも
圧倒されて言葉も出ないようす。いやーすごかった。



● 産業遺産探訪

○第7回:令和元年4月12日(金) 参加者:18名
～1700年創業のハイテク企業福田金属箔粉工業見学～
場所:福田金属箔粉工業(株)(京都)、同資料館

● 京機ビジネス倶楽部

○第10回:令和元年7月5日(金) 参加者:20名
場所:(株)国元商会 (大阪)
講演:「長寿化社会における幸福とは何か?
日本におけるシニアの幸福感について」
内田由紀子氏(京都大学こころの未来研究センター教授)
内田先生には人生100年時代を迎えシニアの幸福感
について講演いただきました。また(株)国元商会の工場
見学と同社の技術講演を行っていただきました。



● 文楽鑑賞会

○第16回:令和元年7月27日(土) 参加者:16名
場所:国立文楽劇場 (大阪)
演目:「夏休み特別公演 第二部 名作劇場」
通し狂言 仮名手本忠臣蔵(五段目より七段目まで)



● 大阪あそ歩

○第9回:平成30年12月1日(土) 参加者:18名
「古より交通の要衝であった近松ゆかりの街を歩く」
(尼崎Part II)



- 京都あそ歩 ● テニスカフェ ● ゴルフカフェ
- MOT研究会 ● KMCイノベーション研究会



総会・新年会のご報告

1月26日(土)に日立金属高輪和彊館にて総会・新年会を開催し、講演・懇親会合わせてのべ63名が参加しました。リカレント講演では杉山文子助教による「幾何学に基づく折り紙の数理化と学術的応用」、また総会特別講演では、(元)グーグル日本法人社長 村上憲郎氏による「IoT、ビッグデータ、人工知能が切り拓く第四次産業革命」の2つの講演が行われ、活発な質疑応答がなされました。

総会後の新年会は、講演の話題を講師と交わす方をはじめ、参加者の和やかな会話が行われていました。



ゴルフ会のご報告

4月6日(土)に、第23回ゴルフ会を万木城カントリークラブ(千葉)で行い、過去最多の26名が参加しました。熱戦の末に、小西正洋氏(H4)が優勝を果たされました。

次回第24回は、11月9日(土)に開催します。詳細は京機会HPをご覧ください。



写真同好会撮影会のご報告とご案内

昨年11月3日(土)に、第18回撮影会として、西鎌倉の長谷寺と鎌倉大仏の撮影に行きました。お寺、庭、市街地の眺望等の様々な被写体の撮影を楽しんだ後、大仏へ移動し、色々な角度や画角での撮影にチャレンジしました。

次回第19回は、11月に開催します。詳細は京機会HPをご覧ください。



異業種交流会のご報告とご案内

昨年10月26日(金)に、富士フィルム(株)様のご厚意で第16回の異業種交流会を開催しました。

本会の講演では、同社の研究主幹の伊藤忠氏に「写真フィルム市場激減からの事業転換」と題して、自社技術の強みを再定義して事業転換した経緯を、MOTの視点からご講演いただきました。

オープン・イノベーション・ラボの見学では、同社のコア技術とその融合商品の体験型展示を通して、異業種企業様との共創の場づくりの取組みを紹介いただきました。

本年の異業種交流会は、東芝(株)様のご担当で、東芝未来科学館(川崎)にて10月25日(金)に開催します。

詳細案内は京機会HPに掲載しますので、多数の方のご参加をお待ちしております。

新人歓迎会のご報告とご案内

4月13日(土)に、学士会館にて、幹事会と併せて新人歓迎会を開催し、新人9名が参加しました。

本会は、卒業したばかりの新人が京機会の各種イベントや先輩方との繋がりを生かせるように、若手の会が企画しました。

会が進むにつれて会話も活発になり、世代間、会社間を超えて親睦を深める良い機会となりました。



来年2020年度新人歓迎会は、2020年4月11日(土)に、高輪和彊館にて、支部総会と併せて開催します。

詳細が決まり次第、京機会HPに掲載いたします。

MOTセミナーのご案内

次回第14回MOTセミナーとして、10月19日(土) 15:30から、京都大学東京オフィス(丸の内)にて、(株)MICIN COO の草間亮一氏(H20)による講演を予定しています。詳細は、京機会HPをご覧ください。

2020年度

関東支部総会・新人歓迎会のご案内

今年度の関東支部総会は、以下の日程で開催します。詳細が決まり次第、E-Mail及び京機会HPにてご案内いたします。

日時:2020年4月11日(土) 13:00~

**場所:日立金属 高輪和彊館
(品川駅から徒歩10分)**

総会講演テーマ:

「脱炭素社会を目指した取り組み」



中部支部総会のご報告

日時:2019年4月13日(土) 参加:89名
場所:DMG森精機(株) 名古屋本社

今年の講演は「HONDA Jetのエンジン」と「YAMAHAの無人ヘリコプタ」の飛ぶモノ競演。どちらも'80年代から積上げた開発の歴史を経て花開いた製品であり、開発リーダーの実体験に基づく開発秘話は実に面白いものでした。将来のエアモビリティに想いをはせながらの中部支部お歴々とのQ&Aも例年に増して盛り上がるものなり『ココロ、動かす。』ものでした。

懇親会はDMG森精機 社員食堂シェフの心づくしのお料理や美味しいお酒をいただいて、会員同士大いに親睦を深めることが出来ました。〔本頁末尾に集合写真掲載〕
〔幹事:幹事:竹内,近藤(トヨタ自動車),多田(日本ガイシ),中島(ヤマハ発動機)〕

- 次年度の支部総会は、2020年4月18日(土)に、開催します。詳細は、決定次第、京機会HP・メールにてご案内します。

KART活動見学会のご報告

日時:2019年6月22日(土) 参加:10名
場所:京都大学工学部機械系実習工場

8月の全日本学生フォーミュラ大会に先立ち製作途中のモノコック(車体)を前にしてKARTの皆さんの苦労話をご説明頂きました。この見学会はKART活動を外に知ってもらえる良い場となるため励みになる、とのことでした。勝ったマシンを真似する大学が多い中、京大は毎回コンセプトを考え直し新しいチャレンジをするとのこと。それもあってか学生がイキイキと活動に取り組んでいたのが印象的でした。今年は試走時間も十分に確保出来るとのこと、本レース(8/27-31)では結果が期待できそうです。懇親会ではKART活動の話や企業人事(どういう学生を大学が育成すべきか)など話題は多岐に渡り、非常に盛り上がりました

〔幹事:川崎(日本製鉄),一本(トヨタ自動車),宮川(豊田中央研究所),杉森(中部電力)〕



第29回 技術交流会のご報告

日時:2019年7月31日(水) 参加:38名
場所:三菱重工航空エンジン(株)(愛知県小牧市)

ボーイング787用Trent1000やMRJ用PW1200Gエンジンの共同開発や量産に参画している工場を見学し技術講演会を開催しました。工場見学では品質を確保する為の取り組みにIoT/AI技術を活用する事例をご紹介頂きました。新旧航空機エンジンを一同に見学できるギャラリーでは至る所で熱い議論が始まり、参加者の皆様の機械への思い入れと長年にわたる企業生活で得た知見の深さを実感しました。講演会では航空機産業の現状と動向をご説明頂き大変に参考になりました。裏話も含めて大変興味深い内容でした。

〔幹事:松本(三菱電機),多田(日本ガイシ),田中(デンソー)〕



学生フォーミュラ応援(若手企画)のご報告

日時:2019年8月31日(土)
場所:静岡県小笠山総合運動公園(エコパ)

6月のKART活動見学会の後、順調に本番のシャシ、エンジンでの試験走行が行われたことでしょう。

大会本番は 8/27(火)~ 8/31(土)。最終日の応援で、『ココロ、動か』されて帰ってまいりました。

応援会の詳細は京機会本部HPをご覧ください。

第30回 技術交流会のご報告

日時:2019年9月23日(月)
場所:(株)デンソー 高棚製作所(愛知県安城市)

本年も学生工場見学会と併せて、(株)デンソーにて、工場見学を行い、「量子コンピュータで未来が変わる」と題した講演会も開催しました。学生工場見学会は同社に加え、DMG森精機(株)伊賀事業所、ヤマハ(株)浜松本社、ヤマハ発動機(株)磐田本社を訪問しました。

会の様子は京機会本部HPをご覧ください。





中部支部スローガン：『ココロ、動かす。』

学生フォーミュラー応援(若手企画)のご報告

日時:2018年9月8日(土) 参加:6名
場所:静岡県小笠山総合運動公園(エコパ)

主となるメンバーが新人を含めた7人という中、今年度のマシンは三ヵ年計画の二年目としてカーボンモノコック、シームレストランスミッションを着実にアップデートしつつ、カーボンドライブシャフトと高度なエアロの開発を行い、悲願の優勝を目指し果敢に挑戦。最終日、インジェクター(燃料を噴射する部品)に繋がる電気信号線の破断による燃料不足でエンデュランス途中リタイアというトラブルに見舞われ、総合30位という結果でした。解説者にマシンを絶賛頂き、注目されていたこともありとても悔やまれます。この失敗をバネに今後更なる躍進を遂げられることと思います。京大チームの果敢なチャレンジを今後も応援していきたいと思ひます。

[幹事:林(日本製鉄),宮川(豊田中央研究所),谷口(中部電力)]



第28回 技術交流会のご報告

日時:2018年9月24日(月) 参加:46名
場所:三菱自動車工業(株)岡崎製作所
株デンソー安城荘

学生工場見学会と同時開催の技術交流会では「昨今の自動車電動化と今後の課題」と題し、CO2排出量の削減に向けた各国政府・自動車メーカー各社が電動化促進を図っている中での自動車電動化の現状と今後の課題について三菱自動車、久米様(1980年)にご講演頂きました。その後の懇親会にはOBと学生、総勢46名で楽しくも大変有意義な時間を過ごしました。

学生工場見学会ではDMG森精機(株)伊賀事業所、及び三菱自動車工業(株)岡崎製作所を周りました。

[幹事:新家(DMG森精機),河野(デンソー),
岡田(三菱自動車工業)]



第4回 匠の技見学会のご報告

日時:2018年11月16日(土) 参加:14名
場所:中埜酒造(株) 國盛酒の文化館(半田市)、
サンブレイン(株) 知多蒸留所(知多市)

今回のテーマは「お酒」。中埜酒造は歴史を感じる酒蔵で日本酒の製造方法とそこにちりばめられた様々な知恵を勉強しつつ、大吟醸からどぶろくまでさまざまな日本酒を試飲させて頂き、造り方と味の違いを頭と舌で堪能。サンブレインはサントリー「知多」の蒸留所。トウモロコシから作るグレインは水の影響を受けにくいお酒とのことで、工業地帯のど真ん中の立地にも納得。蒸留方法を変えて造る原酒とそれらをブレンドして出来上がる「知多」を試飲させて頂き、ブレンドの匠の技に感動しました。舌もココロも動かされた一日でした。

[幹事:奥村(豊田自動織機),中村(ヤマハ),平田(東邦ガス)]



MRJミュージアム工場見学/あいち航空ミュージアム
見学ツアー(若手企画)のご報告

日時:2019年3月24日(土) 参加:33名
場所:MRJミュージアム(愛知県西春日井市)

受付開始半日で定員オーバーとなるなど皆さん興味津々のイベント。MRJ量産工場のツアーでは実物大MRJのカットモデルや「世界一美しい機体を作る」を合言葉に設計されたMRJの技術ポイントを丁寧に説明して頂きました。特に機体のデザインには漆塗り、日本刀の鋭さ、歌舞伎の隈取りのイメージが反映されているとのことで、日本の伝統文化との融合も感じられました。組立工場には製造中の第6,7号機があり、これらが世界中の空を舞う姿が楽しみに感じられました。また、案内人の方々は我々のマニアックな質問にも真摯に丁寧に回答下さり、ツアー自体の「質」の高さが感じられるイベントでした。

[幹事:林(日本製鉄),宮川(豊田中央研究所),谷口(中部電力)]





春季行事のご報告

- ・日時: 令和元年6月1日(土) ・参加人数: 27名
- ・場所: < 見学会 > 広島県福山市
< 総会・懇親会 > ホテル鷗風亭

I. 工場見学

広島県の東端に位置する「JFEスチール(株)西日本製鉄所 福山地区」を見学しました。同地区では、東京ドーム300個分の敷地に製銑・製鋼・圧延・表面処理の各工程を有しており、その巨大な生産規模を体感するとともに、省エネ・リサイクルを通して地球環境への配慮や自然との調和を重んじた事業活動を推進されている様子がうかがえました。



II. 史跡見学

JR福山駅南方にある日本最初の国立公園「潮待ちの港 鞆の浦」にて、史跡巡りと昔ながらの町並みの散策を楽しみました。福禅寺対潮楼の座敷から見渡す弁天島近海の眺望は、江戸時代に朝鮮通信使から「日東第一形勝」(日本一の景勝)と賞賛されたほどで、特に絶景でありました。



III. 支部総会

平成30年度の活動実績と会計決算の報告、令和元年度の会計予算と役員改選の提案を行い、すべて全会一致で承認されました。支部長は田中善一郎さん(S57)から古屋博章さん(S57)へ引き継ぎ、また事務局局長に後藤宏さん(S63)、事務局次長に木村泰之さん(S63)を選出しました。

支部役員(令和元年度)

- 支部長 古屋 博章 (S57)
- 副支部長 琵琶 志朗 (H2)、高橋 一彦 (S58)
- 〃 石田 英芳 (S62)
- 監 事 多田 直哉 (S62)
- 事務局長 後藤 宏 (S63)
- 事務局次長 木村 泰之 (S63)、
- 評議員 岡 宏一 (S56)、豊嶋 範男 (S57)
- 〃 小川 誓 (S62)、白崎 琢也 (H14)
- 顧 問 川口 東白 (S34)、薦田 哲男 (S45)
- 〃 稲本 信秀 (S52)、田中 善一郎 (S57)

IV. 異業種交流会

JFEスチール(株)平林哲さん (S60、資源工学科)に演題「日本における自動車用薄鋼板の発展と今後の展望」にてご講演いただきました。同鋼板のハイテン化に向けた最先端の技術開発についてご紹介があり、その高度で広範な技術内容に関して熱心な質疑応答がなされました。

V. 懇親会

今回多数の若手会員が参加され、また幹事企業(JFEスチール(株))による取り計らいもあり、現役学生2名(上野裕太さん(4回生)、石田尚之さん(3回生))にもご出席いただきました。先輩会員は、大学の臨場感ある最新情報に接し、今昔の対比の中で自身の学生時代をなお一層懐かしく思い起しながら懇談することができました。締めは、恒例の「琵琶湖周航の歌」の全員合唱で和やかに散会となりました。



2018 秋季行事のご報告

- ・日時: 平成30年11月24日(土) ・参加者: 10名
- ・会場: 岡山県倉敷市「善ぞう」
- ・行事内容: 1) 矢掛(旧山陽道の宿場町)の街並み散策
2) 支部役員連絡会議 3) 会員交流会



2019 秋季行事のご案内

- ・日時: 令和元年11月中旬
- ・会場: 広島市内
- ・行事内容: 支部役員連絡会議、会員交流会
- 詳細については、別途Eメールおよび京機会HPでご案内します。



2018年度 秋の行事・総会のご報告

～ 福岡県立修猷館高校出前講義
九州電力玄海原子力発電所見学、支部総会
唐津・有田陶芸の里見学 ～

平成30年10月28,29日の二日間に渡り、秋の行事と支部総会を実施しました。会員15名、ご家族4名、高校生58名、先生2名の総勢79名がご参加下さいました。

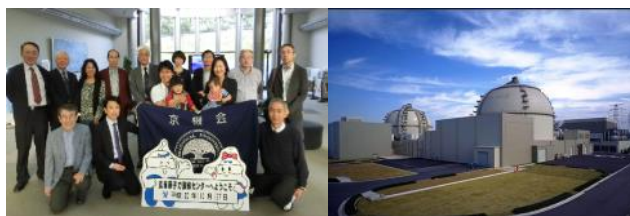
1. 福岡県立修猷館高校での出前講義

28日は、福岡を代表する伝統進学校である福岡県立修猷館高校を訪れ、ものづくり教養講座を実施しました。第一時限目はTOTO(株)の中村久志氏(S56)に「ウオシュレットの開発を通して商品開発の現場」というテーマで、また、第二時限目はトヨタ(株)の安部静生氏(S57)に「トヨタの電動車普及への取り組み」というテーマで講義頂きました。大企業の開発現場の第一線を指揮してこられた講演者の経験に基づく情熱あふれる講義内容に、参加された高校生一同熱心に耳を傾けていました。



2. 九州電力(株)玄海原子力発電所見学

続いて、唐津へ移動し、九州電力(株)玄海原子力発電所を見学しました。本見学には、上田絵里さん(旧姓鯨岡さん、H20)のご家族がゼロ歳の赤ちゃんもご一緒にご参加下さいました。九州支部の行事参加者の最年少記録となりました。玄海エネルギーパークでは、原子力発電の基本構造や発電所建設の歴史、東日本大震災以降厳格化された防災新基準への対応状況等を説明いただきました。原子力訓練センターでは発電所のオペレーターの方々の教育訓練体制を学びました。その後、厳しいセキュリティチェック後、発電所構内をバスで見学しました。



3. 懇親会 唐津地区有田地区見学

夕刻、唐津市内の温泉旅館綿屋で、支部総会と懇親会を行いました。支部総会では、平成30年度の活動報告と決算、平成31年度予算を承認し、事務局長として泉屋亨氏(H5)を、また、事務局次長に入船住津一氏(S60)を選任しました。懇親会では、呼子のいかの活きづくりのフルコースを皆で堪能しました。

翌日は、唐津城、有田ポーリンパークを見学しました。



2019年度 春の行事のご報告

～ JTAメンテナンスセンター見学
沖縄首里城跡、戦跡 見学 ～

沖縄戦終結記念日の慰霊の日に合わせ、沖縄を訪問する春の行事を平成31年6月22,23日の二日間に亘り、開催いたしました。会員とご家族合わせ総勢15名がご参加下さいました。

1. JTAメンテナンスセンター見学

22日には、京機会会員でJALグループに勤務されておられる浅田勉氏(S56)のご厚意で 沖縄の那覇空港に隣接する日本航空グループのJTAメンテナンスセンターを見学させていただきました。ここでは JALグループのみならず、ANAグループや海上保安庁などのさまざまな航空機を受け入れメンテナンスを行っています。通常では立ち入れない飛行機整備の現場を間近に見学させていただくことが出来ました。気象条件のみならず様々な混乱要因がある中で、飛行機の大小にかかわらず、完璧でタイムリーな整備を貫徹されるプロの仕事ぶりに刺激を受けました。離島へのフライトが島民への生活物資輸送の重要な手段になっているだけに、フライト欠航は島民の生活に直接影響するというお話も伺い、沖縄ならではの苦労があることも再認識しました。常に完全を求められる航空機の安全を確保する為の技術と現場で働く方々の熱い想いを学べるよい機会となりました。



その後、首里に移動し沖縄料理で懇親しました。機械系出身の方々ならではの様々な話題で盛り上がりました。



2. 首里城跡見学 沖縄南部戦跡巡り

23日には首里城跡を見学しました。新たに内原(おうちばら)などの首里城「奥」の世界が復元公開され、琉球王国時代の首里城の全容を見学出来る様になりました。あいにくの雨でしたが、琉球王朝の歴史と当時の生活のありようを学ぶことが出来ました。



オプションツアーでは、戦跡巡りをとおし沖縄の苦難の歴史を肌身で感じる事が出来ました。

2019年度 秋の行事・総会は、
11月30日(土)に、北九州にて開催いたします。
詳細は、ホームページ・E-mailにてご案内いたします。



平成26年4月に発足しました「東北の会」は、現在、休止しております。
平成28年10月秋の例会「津波講演会と石巻を歩いて見る会」、平成29年10月秋の例会「松尾芭蕉の足跡を巡る-多賀城から松島へ」には、沢山の方にご参加いただきましてありがとうございました。再始動の際には、また楽しい企画を実施いたしますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

正しいことを言っているのにわかってもらえない？ (界面自由エネルギーと躁状態のお話)

1. 「新しさ」の核生成

「正しいことを言っているのに、なんでわかってもらえないのだろう」と疑問に思われた経験はないだろうか。物理的かつ臨床的にその経験を考察するならば、その経験の背景には「界面自由エネルギー」と「躁状態」の問題がある。

界面自由エネルギーに関しては、たとえば、本学・材料基礎学教科書(機械材料学1)の「凝固」のあたりをご覧ください。

右図は、半径rの新しい相が出現するときの自由エネルギー変化を表している。いかに新しい相の自由エネルギーが低く安定であろうとも、臨界半径 r_c よりも小さな結晶核は成長しない。新しい相と古い相との間の界面自由エネルギーは長さの二乗に比例するため、小さな結晶核は体積よりも界面の寄与が大きく不安定であるためである。

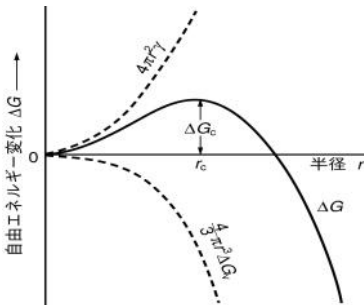


図1 結晶核のエネルギー変化量1)

同じように、いかに正しい新提案をしても、その支持集団がある臨界の大きさを超えなければ古い体質の中でもみ消されてしまう。「理解力のないやつらばかりだ」などと嘆く以前に、そもそも新しさと古さの間に生じる界面自由エネルギーの壁を超えるだけの「大きさ」や「きっかけ」がなければ、新しい相は成長しない。安くてよい製品を売るに先立って試供品を配ったり、おもしろいことを言って笑わせるために「さくら」にくすつと笑ってもらったり、過冷却水を凍らせるのに衝撃を加えたりするのと同じことだ。もし、こういった努力なしに概念やモノが広がったならば、もしかするとその概念やモノは本当には新しくはなかったのかもしれない。

2. 躁状態による自己成立の蹂躪

さて、本稿で述べたいのは後者の「躁状態のお話」の方である。まず、躁病と躁状態とは区別をしておかなければならない。精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM-IV) 2)では、「異常にかつ持続的に高揚した、開放的、または易怒的な気分」として、躁病のエピ

ソードを具体的に示している。この「異常にかつ持続的に」とは、要するに悪循環があつて容易にそこから抜け出すことのできない状況である。それに対して「躁状態」とは悪循環のない(基本的には異常ではない)状態、たとえば、正しいことを言っているが、その言い方が時に高揚し、時に開放的であり、また易怒的である場合である。これは、だれにでもある状況であつて特に異常(悪循環)があるわけではないのだが、ただ問題は多くの場合、高揚、開放的、易怒的であることに対する本人の自覚が乏しい点である。自分の「行為」は本人も確認可能だが、自分の「しぐさ」はなかなか本人には確認できない。鏡に自分自身の行為を映してみても、また他人に尋ねてみても、なかなか「しぐさ」までは見えないのである。また、躁状態の対極にある鬱状態は、本人が思うほどには社会に迷惑をかけていないことが多いのに対して、躁状態は、本人が思ってもみないところで周囲の人を困らせていることが多い。躁状態は異常ではないが、その周囲の人を追い詰めて本当の精神疾患を発症させてしまう場合さえあるのである。

ヒトが「わたし(自己)」を樹立するためには、自己ではない他者に出会わなければならない。他者に「みられる私」と「みる私」の間の矛盾的な関係性の中に「わたし(自己)」が発見される。

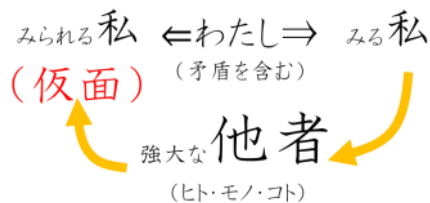


図2 他者に出会うことによって「わたし(自己)」が樹立されるが、強大な他者に対しては強力な仮面をかぶる必要がある。3、4)

図2のように、たとえば易怒的支配的な「しぐさ」を持った強大な他者に暴露され続けると、「みられる私」は仮面となって、つまり相手に合わせた偽りの態度を演じることによって、「みられる私」と「みる私」の間の穏やかな関係性の中に樹立する「わたし」を守らなければならない。しかし、自分に正直であつて共感能力に長けた人ほど、この仮面を演じることができずに精神的に追い詰められてしまう場合がある。

逆に強固な仮面を創って、その偽りの自分の中に自己を埋没させてしまうこともあるかもしれない。

この強すぎる他者による自己成立への蹂躪は、両親や友人、上司などの付き合いの中でだれもが経験する、一種の試練でもあるのだが、他者側に加害の自覚がないことが原因で様々な軋轢を長引かせてしまう場合がある。

3. 社会全体が躁状態となること

「正しいことを言っているのに、なんでわかってもらえないのだろう」と苦しんだ時に、それが新しさを生む界面自由エネルギーの問題なのか、それとも知らず知らずのうちに人を傷つけている躁状態の問題なのか、をしっかりと見極めなければならないのだろう。けれども、前述のように後者は「しぐさ」の問題であってなかなか本人には確認できず、しかも周囲の多くの人々は仮面劇を演じて表面的には肯定的に接してくるために、仮面劇を演じることができない人の苦しみの原因がほかならぬ自分自身であると夢にも思わない。実を言うと、大学における不登校の直接原因の多くは教員であるが、教員がそれに気づくことは極めてまれである。かく言う筆者自身も、無自覚のうちに家族や学生を追い詰めてしまっているのだろう。

この個人の「躁状態」は人を苦しめるが、同時に社会の活力の一部である。だからといって、われわれ自身が「躁状態」であることの無自覚を放置して、だれもが成長の過程ではこの「試練」に耐えねばならない、などと楽観できる時代ではなくなっている。社会全体が躁状態となり、大きな危機の中核となりつつあるのである。京大総長の山極寿一は、その著書(暴力はどこからきたか：NHKBooks 2007) 5) の中で、巨大化した共同体内部の互酬的な関係を維持するために他の共同体との間に軋轢を生じることの危うさを訴えている。さらに、Does Nature Think? 「自然は考えるのか?」と題して UNESCO とパリ日本文化会館で行われた日仏会議 6) のなかで、知識を情報として切り出して分析・操作する情報革命によって利益や勝算が合理的に求められるようになってきた。その一方で、あいまいな意識が分析不能として取り残され、ヒトの暴力性が変化してきていることを指摘している。筆者の文脈でこれを解釈するならば、「みられる私」の「行為」のみが情報化されクローズアップされる一方で、「みる私」の「しぐさ」が行き場を失って潜在化することによって社会全体が一種の躁状態となり、お互いがお互いを追い詰め合っている。

4. 「あいだ」と「型」

山極は、危機的な状況にあるヒトの暴力性に対処する一つの方法論として、日本の伝統的な文化の中にある「あいだ」と「型」の重要性を説いている。たとえば、里山、縁側、日本絵画、茶道、などには、あいまいな状態を許す様々な「あいだ」があっ

て、そこで人々は自由(おのずから)に遊ぶことができる。姿なきものを見、音なき声を聴く日本人の感性はさまざまな「あいだ」を育てる「型」を構築していると言う。そう言われれば、たとえば筆者が親交を持つ芸術家たちは、のほほんとした空間に自由(おのずから)に遊ぶ「あいだ」を有していて、しかもそれを維持させるためのとても厳しい「型」を保持しているように思える。また、学生の相談を受けているある優秀なセラピストの方は、学生と豊かな共感を形成させながらも、その共感に溺れずに自分自身を外在化させ、持続的に学生と対峙していくための「型」を持っているように感じる。

社会全体が一種の躁状態となって自己の成立が不安定になり、だれもが知らず知らずのうちに人を追い詰め、追い詰められ、わけのわからない孤立感に苦しめられている現代において、共感に溺れるでもなく、また他人事として無視するでもない。繰り返すならば、自由(おのずから)に遊ぶことができる様々な「あいだ」を育てる「型」をはっきりと自覚し、世界に発信していくことが求められているのではないだろうか。

蛇足を付け加えるならば、京都大学の吉田寮問題、タテカン問題では様々な意見が対立している。また、我々の老後の問題においても、人に迷惑をかけず、しかし多様に、かつ自由(おのずから)な生活を成立させる、という意味において同じような問題が、各家庭から社会の様々なレベルで厳しい対立を生んでいる。具体的にどのような行動を選択していくかが重要であることは当然であるが、その前に、目に見えにくいそれぞれの自身の「しぐさ」に含まれる暴力の可能性を各人が意識して、それぞれの自己の成立が不安定になりつつある現代性を、自分自身の内部の問題として見つめなおすことが必要なのではないだろうか。お互いがお互いを追い詰め合っている現代社会の「敵」は、まず自分自身の内部にいないだろうか。

京都大学機械理工学専攻
医療工学 富田 直秀 (S54)



参考文献：

- 1) 日本材料学会編「機械材料学」P51, 2000
- 2) 「DSM-IV 精神疾患の診断・統計マニュアル」医学書院 2001
- 3) 富田直秀、すき・きらい・SUKIる(命令する行為と発見するしぐさ)、デザイン学会誌vol. 26-1、特集号「QOL+を考える」(通巻99号) P6-14, 2019
- 4) 京都大学OCW(第8回京大変人講座)
<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/ocwcourse/252>
- 5) 山極寿一：暴力はどこからきたか、NHKBooks、2007
- 6) 日仏国際シンポジウム、Does Nature Think? 「自然は考えるのか?」@UNESCO、パリ日本文化会館：(京大OCWにて動画配信予定)、2019

学生と先輩との交流会にかかるお知らせ

2020年2月21日(金)に、京都リサーチパーク(会場)で開催します！



「学生と先輩との交流会」を、2020年2月21日(金)に、京都リサーチパーク(京都市下京区: JR丹波口より徒歩5分)にて開催いたします。
企業への参加案内は、10月中旬頃に京機会会員所属企業宛に郵送予定です。
昨年度は、早々に参加定数に達し、今年度も早期に満員になることが予想されます。
お早目の申込をお願いいたします。なお、案内がお届けできていない企業もございます。
本交流会にご興味をお持ちいただいた場合は、京機会事務局までご連絡下さい。

京機会・京機学生会SMILE 学生と先輩との交流会のお知らせ

学生会員諸君！

学生会員の多数の参加をお待ちしています。

詳細は、京機会からのE-mailや電光掲示板・ポスターにて確認下さい。

日時:2020年2月21日(金)
交流会:11:00~16:45
懇親会:17:00~19:00

< 9月現在の予定です。時間変更になることもあります。 >

会場:京都リサーチパーク(KRP)
懇親会費:1,000円

早期申込みの場合は、懇親会費は500円！



～ 学生と先輩との交流会とは ～

本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、1999年より実施しております。
本会は、京機会会員である先輩から、在学生に対し、大学における勉強と実社会での仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話していただいております。例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。毎年、約100社の企業にご参加いただいております。

学生会SMILEからのお知らせとご報告

工場見学のご報告

2019年9月23日(月)～25日(水)の日程にて、機械システム学コース公式行事「関東・中部工場見学会」を開催し、広報をはじめとする各種運営に対し、全面協力いたしました。

今年は、ヤマハ発動機(株)、(株)IHI、(株)デンソー、DMG森精機(株)、ヤマハ(株)、日産自動車(株)の6社を見学させていただきました。

支援していただきました支部の皆様、ありがとうございました。

学生と先輩との交流会

2020年2月21日(金)に「京都リサーチパーク」にて、「学生と先輩との交流会」を開催いたします。

就活や企業についてのお話をOBの方々から聞ける絶好の機会というだけあって、毎年多くの学生会員が参加していただきます。(下の写真は昨年度の交流会の様子です。)

詳細が決定次第、学生会員にはポスターや電光掲示板、E-mailで案内いたします。

中部・関東工場見学

京大OBの方が働く企業の工場を見学します。一度にいろいろな企業を見学することができます。だけでなく、OBの方々との懇親会もあります！京機会だからこそできた工場見学会をこの機会にぜひ体験してください！！

日程：9/23(月)～9/25(水)

集合：京大西田キャンパス
解散：日産自動車工場(現地解散)
費用：16,000円(標準)+復路交通費(各自)
定員：先着29名
内訳：内通交通費+宿泊費+他(補助込)
非京機会会員は28,000円(京機会学生会員が優先です)
※京機会・第二世紀記念事業会の補助12,000円
※学生会費23,000円を徴収させていただきます。見学会に7,000円返金する予定です
※会費未納の場合、非会員価格になります
この機会に会費を払っていただければ補助の対称になります

応募締切：8/19(月)
主催：機械システム学コース
共催：京機会・学生会SMILE・京機会中部支部・京機会関東支部

見学詳細はSMILEのHPにて [Google](#) 京機会 smile

Top イベント紹介>2019年度>中部・関東工場見学

見学先企業
DMG森精機 DMG MORI
デンソー DENSO
ヤマハ YAMAHA
ヤマハ発動機 YAMAHA
IHI IHI
日産自動車 NISSAN

応募フォーム

<https://keikikai.securesite.jp/event/form?id=88>



京機会学生会SMILEは、学生同士・OB間の交流の促進を目的として設立された団体であり、
様々なイベントの計画・実行を行っています。新入会員も随時募集中！ E-mail: keiki.smile@gmail.com

学生会員への京機会活動

京機会は、卒業生のための同窓会組織でもありますが、近年、学生会員(機械系専攻在生)向けの行事や支援も数多く行っています。

2回生 工場見学会

2回生講義「機械製作実習」の一部として実施する工場見学会に対して、見学先の手配などの支援を行っています。本会は、機械システム学コースの勉強と実社会での技術者の活動の関係を知る貴重な機会です。

2019年度は、大学創立記念日の6月18日に、コマツ、(株)クボタを見学しました。

中部・関東工場見学会

機械システム学コースの公式行事で、京機会、中部支部、関東支部、京機会学生会SMILEの協力のもと実施される2泊3日の工場見学ツアーへの参加費補助を行っています。見学の他に、懇親会には京大OBの若いエンジニアが多数ご参加いただき、社会人と知り合う機会ができます。普段は聞けない社会人の本音を聞かせていただくことができ、将来の就職に役に立つ企画です。

2019年度は、9月23日～25日に実施され、DMG森精機(株)、(株)デンソー、ヤマハ(株)、ヤマハ発動機(株)、(株)IHI、日産自動車(株)を見学しました。

SMILE主催 工場見学会

京機会各支部(関西・中国四国・九州)のご協力より、京機会学生会SMILE主催の工場見学会も、年度により実施しています。京機会は、参加学生に補助金を提供し、参加しやすい環境を作っています。また、各支部や訪問企業からも多大なるご尽力をいただいています。

京機会各種行事の参加

学生会員は、京機会の各種行事への参加を歓迎されています。特に懇親会では格安の学生価格で参加できます。(但し一部適用されない行事もあります。)

修士修了生・卒業生記念写真撮影

機械理工学・マイクロエンジニアリング専攻の学位授与式、ならびに機械システム学コース卒業証書授与式終了後、記念撮影を行っています。(下記写真)

修士修了記念パーティー

新社会人となる修士学生会員を対象として、博士修了・学部卒業の学生会員も交え、学位記授与式後の記念写真撮影後、記念パーティーを開催しています。



新社会人への記念品贈呈



新社会人となる学生会員には、修士修了パーティーへの招待と共に、京機会特製本皮名刺入れを贈呈しています。

学生と先輩との交流会

学生会SMILEとの共催で、毎年約100社の企業にご参加いただき、各社からも好評をいただいています。

2020年度は、2020年2月21日(金)に京都市リサーチパークにて開催します。学生会員は、早期申込により懇親会にワンコイン(500円)で参加できます。

脇坂基金の運用・管理

脇坂基金は、国際会議等で初めて研究発表する学生に交通費等を補助します。京機会は、本基金の運営を預かり、学生への対応を行っています。

<修士学生会員のみなさんへ>

「京機会 海外へチャレンジ・脇坂基金」に応募ができます。申請方法は、京機会ホームページに掲載しています。E-mailでも案内します。



脇坂基金:国際会議等で初めて研究発表する場合、基金より交通費等を補助します。

2018年度 学位授与式の風景

2019年3月25日・26日に、機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻(大学院)、機械システム学コース(学部)学生全員の出席を得て学位授与式を開催しました。25日には、京機会主催で記念パーティーを開催しました。会長、専攻長、コース長からの祝辞、賞の授与と卒業記念品贈呈がありました。



学部卒業式の風景



修士修了式の風景

KARTからのお知らせとご報告

いつもご声援をいただきありがとうございます。

今年度も令和1年8月27日から31日まで、学生が自ら構想、設計、製作したフォーミュラ車両を題材に競い合う『学生フォーミュラ日本大会2019』が、静岡県小笠山総合運動公園 ECOPAにて開催されます。

本年度は3カ年計画の最終年で、理想のパッケージを追い求めたこの3年間の集大成となる車両『KZ-R17』を開発しました。この車両は一昨年に採用したカーボンモノコック、昨年に採用した中空カーボン製ドライブシャフト、軽量ウイングといった過去2年で培われた技術を踏襲しつつ、2気筒エンジンへの変更やオリジナルカーボンホイール、カーボンアームといった新しい技術も盛り込んでいます。また2年前から開発を始めたシームレストランスミッションに関しては、本年度版を大会で実装して走行することは難しくなりましたが、完成したアセンブリをデザイン審査に持ち込み、得点向上を目指します。

今年度は若いメンバーに加え経験豊富なメンバーも加わったことで、初走行はGW中に完了し、走行距離を延ばすことができました。新たな技術を多く搭載したことにより走行時のトラブルも多く出ましたが、それらは一つ

一つ確実に解決していき、最終的には非常に完成度の高い車両にできたと自負しております。

大会まで残り少ない期間となりましたが、最後まであきらめず、優勝を目指し、ご声援をくださった方々の恩に報いることのできるよう尽力してまいります。

今後とも京都大学学生フォーミュラプロジェクトKARTへのご声援をよろしくお願いいたします。

2019年度プロジェクトリーダー 富樫 明寛

ホームページ : <http://www.formula-kart.org/>



(注)本原稿は、編集の関係で8月中旬に投稿いただきました。第17回学生フォーミュラ大会(8/27~31エコパ(静岡))やKARTの今後の活躍・展望は、京機短信等でご紹介いたします。 <京機会事務局>

RoboCup 世界大会レスキュー実機リーグ優勝

2019年7月4日~7日にシドニー(豪州)で開催された「RoboCup 世界大会 レスキュー実機リーグ」にて、機械理工学専攻 松野研究室のレスキューロボット開発・運用チーム「SHINOBI」が見事、総合優勝されました。

「SHINOBI」の創設は2002年。以前より国内大会では優勝や準優勝、世界大会で準優勝や部門賞など輝かしい成績を取られていましたが、今回の世界大会では、東北大学多田隈研究室開発のハンドを搭載したロボットFUHGA2で念願の初優勝です！日本チームとして世界大会優勝は2005年以来の14年ぶりだそうです。



「RoboCup」は、1997年から開催されている世界最大規模の伝統ある国際ロボット競技会です。世界各国から多くの研究チームやロボットエンジニアが参加しており、サッカー、レスキュー、@ホームという3つのリーグを通して実践的な研究開発が行われています。

「レスキュー実機リーグ」では、災害現場を模したフィールドを用いてロボットの遠隔操作性能、不整地の走破性能、アームによる作業性能、マッピングや自動走行による自律探索性能など、災害対応ロボットに求められる多様な性能を総合的に評価します。



予選では、4カテゴリに分かれた計20種の課題から各チーム得意なものを選択して取り組みます。3日間かけて18回もの試技を行い、各チーム成績の良かった10種分の得点で決勝進出チームが決まり、本チームは接戦の末に2位で決勝に進出しました。また予選結果から作業性能に関する部門賞である「Best in Class Dexterity賞」も受賞しました。決勝戦では予選の得点はクリアされ、6チームが新たに走破性能、作業性能、自律性能をそれぞれ評価する三つの種目に各40分ずつ取り組みました。「SHINOBI」はレスキューロボットに求められる 全ての機能を妥協無く充実させ、その総合力の高さを発揮して優勝を掴み取ることができました。

チーム「SHINOBI」

チームリーダー 竹森達也(D2)

チームメンバー 王壘尋(D3)、平井智章(M2)

三宅正人(M2)、深尾優斗(M2)、Hardik Parwan(M2)

池村翔平(M2)、山口開陽(M2)

教員の異動

新任

◆**平山朋子教授**:H9東大・工・精密機械工卒、H11京大大学院工学研究科精密工学専攻・修士課程(矢部研)修了、H13同博士後期課程中退、H13龍谷大学理工学部助手、H17同志社大学理工学部専任講師、H20同准教授、H26同教授を経て、H31より本学工学研究科機械理工学専攻教授。トライボロジーを基礎として機械要素の高性能化・高効率化に関する研究に従事。愛知県出身。



◆**Arseniy Kuzmin講師**:H20モスクワ工業物理大学大学院実験理論物理研究科修士課程修了、H24同博士後期課程修了。同年モスクワ科学技術オートメーション研究所研究員、H25九州大学応用力学研究所高温プラズマ理工学研究センター研究員、H29核融合科学研究所高密度プラズマ物理研究系研究員を経て、H30.12.1本学大学院工学研究科機械理工学専攻講師。磁場閉じ込め高温プラズマにおける水素リサイクリングの研究に従事。ロシア出身。



◆**寺川達郎助教**:H26京大・工・物理工学科卒、H28同大学院工学研究科・機械理工学専攻・修士課程修了、H31同博士後期課程およびデザイン学大学院連携プログラム修了、H31.4.1本学機械理工学専攻・助教。車輪式移動装置用の全方向移動機構と統合型モータ機構の研究に従事。京都府出身。



転出,異動

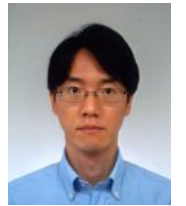
- ◆**藤原幸一助教**:2018年11月1日名古屋大学物質プロセス工学専攻の准教授に就任
- ◆**福島宏明助教**:2019年4月1日 京都先端科学大学ナガモリアクチュエータ研究所の教授に就任

昇任

◆**井上康博教授**:H10 北大・理・物理学科卒、H12 東大大学院工学系研究科システム量子工学専攻修士課程修了、H15同博士後期課程修了、H15日本学術振興会特別研究員PD、H18理化学研究所研究員、H19本学機械理工学専攻助教、H23本学再生医科学研究所准教授、H28本学ウイルス・再生医科学研究所准教授、H31.4.1本学マイクロエンジニアリング専攻教授。生命的な複雑適応システムの構造的発展やその応用等の研究に従事。長野県出身。



◆**安部正高准教授**:H17京大・工・物理工学科卒、H18同大学院エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻・修士課程修了、H21同博士後期課程修了、H22同助教、H31同准教授。材料強度学と連続体理論を基礎としたエネルギー関連材料の強度、変形挙動に関する研究、および非破壊検査技術の開発に従事。福岡県出身。



◆**遠藤孝浩准教授**:2006年東京工業大学大学院総合理工学研究科博士後期課程修了。同年、岐阜大学工学部助手、2007年同助教に配置換え、2015年本学機械理工学専攻助教、2019年同准教授。ハプティクスを用いた運動学習システムやロボットの遠隔操作システムの研究開発、ロボット群や柔軟メカニカルシステムの制御に関する研究に従事。福島県出身。



退職

- ◆**北村隆行教授**:2020年3月31日定年退職予定
- ◆**星出敏彦教授**:2020年3月31日定年退職予定

会員のページ



学年・研究室同窓会のご報告

- 学年&研究室同窓会開催案内や掲示板としても京機会ニュースをご利用下さい！

京機会ニュースでの各種同窓会報告は、年1回となるため、昨今は「京機短信」(毎月5日発行)にて、随時ご紹介しています。短信では字数も写真の枚数制限もありません。詳しい同窓会報告の掲載を希望される場合は、短信用の原稿も併せてお送りください。

京機会ニュース記事投稿のお願い

会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)でお願いします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただきます場合があります。なお、今後の検討により、次号から写真とキャプションのみの掲載となる場合もあります。その節はご容赦ください。また、お送りいただいた写真(画像ファイル)は返却いたしません。ご了承下さい。

次号(No.41)締切は2020年7月末日です。

担当:富田 直秀、黒瀬 良一、段 智子



学年・研究室同窓会のご報告

会員のページ

京機S27 洛悠会同窓会

2017年10月11日、東京「丸の内 ポールスター店」にて同窓会を開催しました。出席者は荒川、岩崎、小林、山本夫妻で会員は4名でした。

我々は正月に近況その他を年賀状に託して集め、更に趣味や写真或は各自の考えていること原稿をサロンと称していますが、投稿してそれらをすべて一冊の小冊子として会員に年に一度、配布しております。ですから、会員間の意思は良く通じています。

併し、我々は90歳前後になりました。活動出来る会員は減ってきます。2017年末で生存率は40%(卒業時は40名)です。でも我々の繋がりは固くて楽しいです。ルーツは昔の設計室にあると私は思っております。郊外でも嵯峨野やぼんぼん山等の散策、比叡山、今津のスキー、琵琶湖のヨット。思い出せば楽しいことは多く、更に長生きしそうに思っております。(山本記)



昭和43年卒同期会

京機43会(京機会昭和43年卒同期会)は、毎年、関東、中部、関西などで幹事を回り持ちして開催していますが、卒業50周年を迎える今年は、中部地区が幹事で、「健康、保養、親睦と高級うなぎ飯をお値打ちに実現すること」を狙いに、浜松周辺の観光も含めて、2018年9月13日14日開催しました。トヨタ健康保険組合の保養所・浜名湖荘で親睦を深めた翌日、おんな城主・井伊直虎で有名になった龍潭寺周辺や航空自衛隊のエアパークを見学し、浜松駅近くの老舗うなぎ料理店で高級うなぎ飯を堪能した後、解散し、その後は、それぞれ、近くの楽器博物館を見に行ったり、新幹線で家路に向かったりでしたが、楽しい二日間でした。(瀧本記)



京岬会(昭和33年卒)同窓会

平成30年10月15日沼津リバーサイドホテルにて13名の参加の下、盛大に開催した。本年は記念すべき卒業60周年であり当会の歴史を纏めた資料作成や会を讃える文や詩を披露する等趣向をこらした。

会は總會、続いて2次会と夫々和気藹々、喧々譁々の下に進み、翌日のバスツアーは、絶好の天気にも恵まれ冠雪の秀麗富士にも迎えられた。車中のバスガイドの説明や各所で観光ボランティアガイドさんの熱心な説明を受け昼食には葦山の美味しい地ビールを楽しみ、メンバーに恵まれた素晴らしいツアーを満喫した。(中村記)



第17回談風会を2019年1月23日、第18回は7月16日に東京の学士会館で開催した。この会は1958年、機械工学科卒の名古屋以北の在住者の集まりで、第18回は6名の参加であった。テーマを持ち寄って3時間に及び愉しく活発な談論を重ねた。会は飲食の時間もあって、楽しく歓談。次回の会合へ、活力をつなぐものであった。

昭和35年卒同窓会

平成30年10月21日(日)～22日(月)に、滋賀県長浜市にある「北ビワコ ホテルグライツエ」で同窓会を開催しました。奥様方5名を含め、17名が集いました。趣味の話、日頃の生活の話、健康の話、・・・といろいろな話題で盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。

翌22日には、竹生島クルーズを楽しみました。雲一つない穏やかな秋日和に恵まれ、奥琵琶湖の風光を満喫しました。竹生島では、年齢に負けず、急な石段を登り切り、名利宝巖寺に参詣し、それぞれの想いを願いました。

次回は2年後関東での開催を目標とし、皆が元気に再会できること期し、盛会裏に散会しました。(矢部記)



会員のページ

京機38(昭和38年卒)同窓会

京機38同窓会を2年振りに2018年11月7～8日に甲府で開催した。JR甲府駅に集まり、マイクロバスで昇仙峡を目指す。昇仙峡の上流の金桜神社は、朱塗りの美しい社殿、名工・左甚五郎の昇り龍・下り龍など立派な神社だった。「影絵の森美術館」を鑑賞後、昇仙峡を仙峨滝から長譚橋まで谷川沿いに4.5km歩く、覚円峰などの巨岩と紅葉の赤・黄・緑のコントラストが見事で素晴らしかった。

翌朝、武田神社に参拝し、その後、ワイナリー工場を見学。午後は大月のリニア見学センターへ行き、超伝導リニアを学び、リニア・カーの試験走行を見学した。ホテルでの宴会は近況報告から昔話と大いに話が弾んだが、参加者が今回は10名と2年前の半分になったことから、同窓会の終活が話題となった。今後は1泊旅行は止めて昼食会とし、毎年、京機会の総会に合わせて京都で開催することにした。(細見記)



昭和42年卒関東同期会

S42卒関東同期会 愛称「金時会」が開催されました。春(6月8日)は15人、秋は12人集まりました。(写真上)

秋の会(11月9日)では健康、運転免許証更新・返上の件、旅行や山歩きの件が話題になりました。(写真下) 来春の予定は2019年5月17日(金)です。(長崎・藤川記)



昭和58年卒同期会

S58卒業の同期会は、オリンピックの年に開催しています。今回は37名の参加者を得て、グランヴィア京都にて盛大に開催されました。35年ぶりの参加となる稲口君の乾杯スターターではじまり、おじさんの会話が弾みました。皆さんの近況報告ののち、酔っぱらい達の記念写真、35年ぶり参加の伊藤君の絞めにてお開きとなりました。

次回は、2020年の東京オリンピックの年に予定しています。(今谷記)



落合庄治郎名誉教授古稀 北條正樹教授還暦 お祝い会

落合名誉教授・北條教授のお祝い会として関連の同窓会が、2018年9月2日(日)にホテル京阪京都グランデ(2階光林)で行われました。

お忙しい時期の中、企業や大学の第一線でご活躍されている多数のOBの方から今年修了した若いOBまで総勢約50名がお祝いに駆けつけてくださいました。会の中ほどでは、OBの皆様がご記憶のちょっと気恥ずかしいエピソードも交えたクイズを田中基嗣先生が企画され、両先生のお人柄が伝わる懐かしいエピソードに会場が一体となって盛り上がりました。オプションとして北條先生がガイドを務めた京都鉄道博物館ツアーでは、先生が長年にわたり蓄えられた蘊蓄を存分に披露され、参加者ともども新たな視点を得つつ鉄道世界の深い魅力に魅了されました。

アドレス不明でご連絡が取れていないOB方には、担当の西川までご連絡をいただけますと幸いです。

(西川記)



会員のページ

昭和39年卒同窓会

2019年5月27日(月)に毎年定例の昭和39年卒業の関東地区在住者による同窓会を「銀座ライオン」にて開催しました。今年は16名が出席者しましたが、最近では出席者の減少が続いており、気になるところです。

毎回のことではありますが、話題豊富な会にて全員が楽しいひと時を過ごすことが出来ました。(広岡記)



昭和48年卒同期会

2018年9月30日～10月1日、1泊2日で同期会を開催し旧交を温めました。5年ぶりの同期会で17名が京都白河院に集まりました。今回は1日目午後には台風24号が京都近くに到来、新幹線やJR線などが計画運休する事態の台風真っ只中での懇親会となり、記憶にしっかり残る同期会になりました。台風でドタキャンとなった方も多量中、気合いの入った17名が集まったわけです。1日目は午後台風到来で交通機関が運休になったため却って集合時間が早くなり、その結果、幸いにも、計画外の本番懇親会前0次会(?)も楽しむことができ、続けて、台風真っ只中の本番懇親会そして2次会、結局、10時間におよぶ大宴会となりました。2日目は見学組とゴルフ組に分かれ、見学組は旧三井家別邸と島津製作所創業記念資料館を見学、ゴルフ組は瀬田ゴルフコースでゴルフを堪能、絶好の日和で台風はどこそぞやという幸運でした。5年後に再会を誓って散会しました。(成宮・増本記)



平成2年卒同期会

2019年1月26日に新横浜の福祥園本店にて90年卒の同窓会を開催しました。参加者は12名と少な目でしたが、中華料理を食べながら2テーブルに分かれて大いに盛り上がる事ができました。参加いただいた皆さん、ありがとうございました。会の途中でお店の中が騒がしくなったと思ったら、テレビで女子テニス・大阪なおみ選手の全豪オープン決勝中継があり、優勝決定の瞬間には我々も興奮に包まれました。

次回はスイスでという構想もありましたが、メンバーの帰国に伴ってその企画はなくなりました。代わりに、次回は来年京都で学部卒業30周年を記念して盛大に行いたいと思います。早めに企画を行いますので、各研究室の皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

(幹事:琵琶、水山、新玉、畑(記))



50年会(昭和25年卒)同期会

京都大学工学部機械工学科へ入学した昭和22年は、丁度京都大学創立50周年の年であった。又、卒業した昭和25年は、西暦1950年に当たり、数字的に非常に印象の良い年であった。上記の2つの数字50の縁で、我々学年同窓会の名称を五十年会と呼称することになった。以後五十年会は元号が変わる令和元年まで69年間継続してきた。が、メンバー減などで限界に至り、残念ながら今年で五十年会を解散することになった。(小澤記)



<50年会の皆様>



長らくのご活動ありがとうございます。これからは皆様、ますますお元気で、今後とも京機会活動へのご愛顧の程よろしくお願ひ申し上げます。

<京機会事務局>

● 京機会ホームページ(<http://www.keikikai.jp/>)において、各学年&研究室の最新の同窓会風景はバックナンバーと共に掲載しております。